

2003.6.10

「澤井河川塾」近畿通信 Vol. 32
(NPO 法人近畿水の塾ホームページ)

////////////////////////////////////
総会は爽快に盛会でした！！

////////////////////////////////////

【河川塾NEWS】

さる5月31日、森ノ宮の環境情報センターにて、NPO法人近畿水の塾の平成15年度総会が開催されました。

台風一過のたいへん蒸し暑い日でしたが、会場までご足労いただきました皆さま、そしてご欠席ながら委任状でご参加くださいました方々、全ての会員の皆様方のご協力により無事総会を終えることができました。本当にありがとうございました。

以下に簡単ですが、当日の議事内容を報告します。

議長は福廣さんです。

第1号議案 議事録署名人の選任の件

白木茂さん、白木江都子さんをお願いしました。

第2号議案 平成14年度事業報告及び収支決算

平成14年度事業として、

- ・ 継続的な公開研究会「澤井河川塾」の実施
- ・ 近畿水の塾設立記念会及び『柳川堀割物語』ミニ上映会
- ・ 石川河川公園「自然ゾーン」ワークショップへの助言・人的支援
- ・ ホームページの作成・更新等について

が報告され、承認されました。

また、平成14年度収支決算が承認されました。

第3号議案 平成15年度事業計画及び収支予算

平成15年度事業として、

- ・ 継続的な公開研究会「澤井河川塾」の実施
- ・ 拡大版「澤井河川塾」『(仮題)自然再生推進法で川はどう変わる！？』の開催
- ・ 水に関わる環境学習プログラムの開発及び実施
- ・ (仮称)「近畿～私たちの水辺」発表会の開催及び-近畿水の塾オリジナル-『川』評価手法の開発
- ・ ホームページによる情報発信

- ・ ニュースレター発行
- ・ 法人ロゴ公募

以上の事業計画について説明がなされ、承認されました。

また、平成 15 年度収支予算が承認されました



平成 15 年度事業計画案の説明



第 2 期役員として選任されたみなさん

第 4 号議案 役員を選任及び解任について

平成 15 年 6 月 1 日から 2 年間の任期で以下の役員が選任されました。

理事 ^{あだち たかひろ} 足立 崇博、理事 ^{さわい けんじ} 澤井 健二、理事 ^{しもむら やすし} 下村 泰史、理事 ^{しらき しげる} 白木 茂、理事 ^{にしかわ しろう} 西河 嗣郎、
理事 ^{ふくひろ} 福廣 勝介、理事 ^{やすだ ひろゆき} 安田 博之、監事 ^{かつやま けいいち} 勝山 慶一

第 5 号議案 ロゴ採用決定の件について

NPO 法人近畿水の塾ロゴマーク応募作品十点の中から、最優秀一点、佳作二点を選出しました。



近畿水の塾ロゴマークの選出状況



総会記念ワークショップの様様

その他 NPO 法人近畿水の塾総会記念ワークショップ

「2003 年度への期待」

詳細につきましては、2003 年 5 月 31 日 NPO 法人近畿水の塾 第 1 回総会議事録

<http://www.geocities.jp/mizunojuku/nyukai/soukai/H15soukaihonbun.pdf> をご覧下さい。

【前回河川塾の内容】

「第29回澤井河川塾」

日時：5月21日(水) 19:00～

場所：センター（いつもの6F会議室）

出席：足立、田淵、定、橋本、辰谷、山本、澤井、小川、富田、下村、西河、福廣、
白木茂、白木江都子、左近、市川卓司、古川、谷本、佐藤拓二、佐藤侑美
計20名

内容： 河川関連法についての学習会

1. 講義「自然再生推進法の解説」
講師：大阪府環境農林水産部 池口主査
2. 全体討論会
「自然再生推進法とは？」
3. 企画会議
拡大版河川塾
「(仮題)自然再生推進法で川はどう変わる!？」について

・・・レポートは活動報告欄の Pdf. ファイルをご覧ください。

<http://www.geocities.jp/mizunojuku/katudouhoukoku/katudouhoukokuTop.html>

[記録担当：摂南大学 小川&富田]

自然再生推進法の詳細に関しましては、下記のHPを参照してください。

<http://www.env.go.jp/nature/saisei/law-saisei/>

<http://www.env.go.jp/nature/saisei/law-saisei/law.html>

【次回の予告】

次回、「澤井河川塾」のご案内です。

第30回「澤井河川塾」

日時：6月18日(水) 19:00～21:00

・・・毎月、第3水曜日の開催です!!

集 合 : センター (いつもの 6 F 会議室)

内 容 : 「水辺空間と人の関わり」
京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会

参加申込 : 近畿水の塾 事務局 (FAX:0725-53-5325

E-mail: mizunojuku@yahoo.co.jp) まで 6/17(火)締切

【近畿水の塾 なんでもアワード】

NPO 法人近畿水の塾のロゴマークが、とうとう決まりました！

10 点の応募をいただいた中から、総会出席者の多数決により下記のとおり選ばれました。

(敬称略)

・最優秀賞	佐藤 侑美 (会員)	賞 品	金一封
・佳 作	藤木 郁子 (会員)	〃	〃
・ 〃	山本 信 (一般)	〃	〃

後日、福廣理事長より、賞状と賞品が手渡されます。

ロゴマークはHP上に近々登場いたしますので、どうぞお楽しみに。

たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

【マイリバーノ川びと】

今回から始まりました川のリレーエッセイ。

初回は澤井河川塾 常任講師 澤井先生からのスタートです！

「マイリバー」、これは、3年前、川に学ぶシンポジウムの準備会で、土谷さんが提唱された言葉でしたね。私にとってマイリバーとはどこでしょうか。生まれた家の近くを流れる京都市北区の賀茂川でしょうか。それとも今住んでいる京都市伏見区の日野川でしょうか。それとも勤務先のある寝屋川市内の寝屋川でしょうか。それとも、淀川でしょうか。あるいは、仕事の上でかわりの多い大和川でしょうか。いずれもかなり思い入れのある川です。しかし、なんと言ってもやはり今住んでいる家のそばを流れる日野川、これは特に大切にしたいと思っています。川幅がほんの数メートル、普段の水量はあるかなしかの川で

すが、私にとってはかけがえのない、地元の川なのです。

この日野川に親水ワンドをこしらえたいという私達の願いがとうとうかなえられて、今、京都市の手によって工事が進められています。一昨年、河川塾の皆様によって作っていただいたビオトープ池は残念ながら壊れてしまいましたが、川底にこしらえていただいた砂州は健在で、今年は、ホタルが舞うようになりました。近くの田んぼの畦沿いにも、幅20cmの水路を掘ったところ、いい感じの水が流れるようになったのですが、漏水が激しくて、コンクリート側溝に置き換えることになりました。しかし、私のこだわりで、そのコンクリート側溝の中に土を入れ、土の水路を復元しています。

隣接する保育園の屋根の水はまだ垂れ流しになっていますが、グラウンドの排水の一部は、地下に埋めたコンクリート水槽に貯め、好きなときにワンドへ流せるようにしました。

「川人」というには、あまりにもスケールが小さく、みじめな気持ちになることもありますが、この積み重ねが大河の源だと思って、自らを励ましています。しかし高くつきますね。

さあ、今回のリレーエッセイは誰につながるのでしょうか。どうぞお楽しみに。

【川の情報ボックス】

イベント情報 1 (近畿水の塾会員 寺川さんがパネラー参加されます)

「循環社会は環境教育から」

環境教育・環境学習推進法をつくろう！シンポジウム in 関西

テーマ 「関西のゴミ・水・里山の現状と環境教育の必要性」

目的 循環社会は勝手にむこうからやってくるものではありません。21世紀を持続可能な社会へ転換するには、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会が産み落とした《負の遺産》の現状を知り一体どうすればよいのかを一人一人が真剣に考え始めることがとても大切です。

そして、それが行動に結びついた時、初めて循環社会へのスタート地点についてと言えるでしょう。みんなが気付き行動するためには環境教育・環境学習がたいへん重要であり、その推進のための仕組みづくりが欠かせないことを共に考えたいと思います。

日時 平成15年6月28日(土) 13:00~17:00(続いて懇親会)

場所 大阪府商工会館7階(地下鉄中央線本町駅 17番出口直結)

内容

13:00 オープニング：ミュージカル「地球のこどもたちへ」

13:30 開会あいさつ

13:40 話題提供「ゴミ・水・里山の現状と環境教育の必要性」

15:30 パネルディスカッション「循環社会は環境教育から」

パネラー 山内 寛（京都市ゴミ減量推進会議 理事）

小林千恵(NPO法人水環境フォーラム 理事)

寺川裕子(NPO法人里山倶楽部 理事)

16:45 環境教育・環境学習法案説明と国会状況報告

田端正弘(衆議院議員)

17:00 終了（終了後に懇親会）

参加費 無料（懇親会2000円）

申込・お問合せ 環境教育・環境学習推進法をつくろう！推進協議会

(NPO法人環境文明21内) 044-411-8455

<http://www.neting.or.jp/eco/kanbun/see-act/>

締切 6/22(日)

共催 環境教育・環境学習推進法をつくろう！推進協議会 NPO法人環境文明21

NPO法人環境文明21関西グループ NPO法人エコパートナー21

(『環境教育・環境学習推進法をつくろう！シンポジウムin関西』チラシより転載)

イベント情報 2（近畿水の塾会員 川上さんをご案内されます）

「名張川と豊かに歩こう会」

目的 「名張川の川景色の中に溶け込み、生き物と触れ合い、悠久の自然を感じ、心豊かな半日を過ごしませんか。

当日は近畿大学・雑草学の芦田馨先生が同行してくださいます。雑草・野鳥・水生動物を楽しみ、理解を深める会に、ご一緒しませんか！」

日時 6月22日(日)午前10時～正午頃まで(雨天中止)

集合・解散 名張中央公民館～新町橋付近

活動内容

- ・ 大屋戸潜水橋で、動植物観察、水質パックテスト
- ・ 朝日町潜水橋で、動植物観察、水質パックテスト
- ・ 新町護岸で、動植物観察、汚水流出箇所で水質パックテスト

木津川上流域、名張川と材木、川と人の関わりなどについて、

川の会・名張の世話人が、簡単に説明いたします

申込・お問合せ 川の会・名張事務局 0595-63-0260 渋谷東門堂薬局内

その他 参加者に自然の花の写真集「自然な花の心 創刊号」を無料配布いたします

(川の会・名張事務局：中西の非買自費出版物)数量に限りがあります
(『名張川と豊かに歩こう会』チラシより転載)

イベント報告

「子どもの水辺」大阪連絡会議

日時：平成 15 年 5 月 30 日 (金) 13:00~17:30

場所：KKRホテル大阪

主催：文部科学省、国土交通省、環境省、子どもの水辺サポートセンター

平成 11 年度より「子どもの水辺再発見プロジェクト」を推進している上記 3 省は、昨年 5 月に (財) 河川環境管理財団内に「子どもの水辺サポートセンター」を設置し、「子どもの水辺」の選定・登録と活動支援する体制を強化しました。今回の会議は、現在の水辺活動の実態から今後の課題等を抽出し、これからの活動拠点づくりのための方向性について議論することで、大阪における水辺活動の活性化を図るというものです。

上記 3 省に農林水産省と大阪府を加えた『子どもの水辺プロジェクト』の取り組み紹介の後、「子どもの水辺サポートセンター」と「川に学ぶ体験活動協議会」事業についての説明がありました。

「子どもの水辺」登録とは、子どもたちの河川の利用を促進し、地域における子どもたちの体験活動の充実を図るため、これらの活動を行っている、または行おうとする方々を集めて「子どもの水辺協議会」を設置し、子どもたちが安全に遊べるようなフィールドを「子どもの水辺」として「子どもの水辺サポートセンター」に登録するものです。

登録するメリットとしては、

- 各種教材・資料や川に関する情報の提供
- サポートセンター会議室の無料利用
- ニュースレター等の情報誌の発刊と提供
- サポートセンター主催の各種講習会への優待
- 人材のコーディネート
- 資機材の無料貸し出し

など、体験活動に際しての様々なサポートを「子どもの水辺サポートセンター」から受けることができます。

登録料は無料で、登録用紙は下のホームページアドレスからダウンロードできます。

また、活動事例紹介として、

- | | | |
|--------------------|-------|------|
| (1) 近木川流域自然大学研究会 | 代表 | 橋本氏 |
| (2) アクアフレンズ | 代表世話人 | 美濃原氏 |
| (3) 水辺に親しむ会 | 会長 | 新城氏 |
| (4) 高槻市立五領小学校 | 教諭 | 五十里氏 |

から、プレゼンテーションをいただきました。

次に、大阪府内の地域別（北河内、中河内、南河内など）に分かれた分科会とそれらのとりまとめとしての全体会議がとり行われましたが、それらの内容については割愛させていただきます。

これから、このような取組みが地域に浸透することで、川に子どもの姿が増えるといいですね。そこからは、『真に「川に学ぶ」社会』が実現するまで近いように思えます。

（「子どもの水辺」詳細は「子どもの水辺サポートセンター」ホームページ

<http://www.mizube-support-center.org/>をご覧ください）

[侑&拓]

【事務局より】

15 年度総会は、法人設立後初めてということもあり、議事進行が予定時刻を大幅にオーバーしてしまうという事務局の不慣れな総会運営で、オプションのワークショップを予定していただいていた久保田さんにはたいへんなご迷惑をおかけしました。（タイムリミットがありながら段取りよく進めず、反省しております。すみません。。）

ただ、逐一説明しながら、その都度質疑応答しながらの素人進行であったのは、「水の塾らしかった・・・」とか、「本来の総会らしかった・・・」とか、慰めのお言葉もチラホラ・・・

ロゴ公募についても、最終 10 点もの作品が集まりとても楽しい議事内容でしたし、押せ押せの時間の中での、久保田さんワークショップも手作り感覚のとても“暖かい”ものでした。『場当たり』とともに、昭和 30 年代の“暖かさ”もキーワードでしたね。

近畿水の塾の新しい 15 年度事業はもう始まっていますが、この総会で慌しかった 14 年度がようやく終わった、という感じです。

NPO 法人近畿水の塾 平成 14 年度事業にご協力いただきましたみなさま、心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました！！